



(4/30~5/31まで)

気象庁発表 全国1か月予報(平成29年4月27日発表)

- 全国的に暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は北・東・西日本では高く、沖縄・奄美では平年並か高いでしょう。特に北日本では、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。
- 全国的に高気圧に覆われやすく、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込みです。

東北地方整備局高瀬川河川事務所様に 気象・水位観測システムを納入

高 瀬川河川事務所管内の小川原湖総合観測所は、昭和55年度に青森県の小川原湖北部の湖上に、気象・水象・水質を観測する目的で建設された珍しい施設となります。観測データはテレメータシステムにより、信頼性の高いデータを確実に伝送し、小川原湖の洪水管理・水質管理に威力を発揮しています。

この観測システムの老朽化に伴い、平成28年度、最新の気象・水位観測システムに更新致しました。気象観測については、風向風速、温度、雨量、日射、日照を、水位観測については高精度の水晶式水位計を導入致しました。観測データの記録については従来のアナログ記録方式から、最新のペーパーレスレコーダーへ変更し、記録用紙の交換やインクの補充などの手間や目視による記録データの抽出・解析などを不要とし、現地でのタッチパネルによるデータの確認、USBメモリによる過去データのCSV保存、PC管理によるデータ閲覧や解析などが容易にかつスムーズに行えるシステムとして、湖上という特殊環境の観測所に必要不可欠なスマートなシステムを実現しました。



気象・水位観測装置架(ペーパーレスレコーダ実装)



小川原総合観測所 全景

奈良県農業研究開発センター様納入 無線式気象観測装置紹介

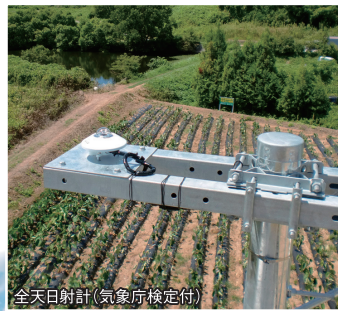
奈 奈良県農業研究開発センター様はオンリーワンの研究開発を目指し、奈良ブランド力の強化を図っておられる農業研究機関です。

このたび、平成28年9月1日の奈良県農業研究開発センター様新築移転に伴い、無線式気象観測装置を納入致しました。

本無線式気象観測装置は、圃場に設置しました気象観測装置から特定小電力無線により、約200m離れた事務所に設置しましたデータ処理装置(モニターPC)に風向風速・温度湿度・日射・雨量の気象データを伝送する構成となっております。

特定小電力無線ユニットの採用により、離れた圃場の気象データをリアルタイムに把握することが可能となりました。

奈良県農業研究開発センター様の自然豊かな環境の中、無線式気象観測装置が刻一刻と変化する気象状況を欠かすことなく観測しています。



全天日射計(気象庁検定付)



気象観測支柱(地上高10m)



風車型風向風速計(気象庁検定付)



奈良県農業研究開発センター